

太陽放射観測による雲とエアロゾルの光学的特性が気候に与える影響



大学院理工学研究所(理学)
教授 青木 一真

研究のキーワード

雲とエアロゾル、気候変動、リモートセンシング、山岳大気、大気雪氷環境

研究の内容

雲や大気中に浮遊する微粒子(エアロゾル)が気候に与える影響について、高緯度地域から赤道地域にいたる世界各地の地上や山岳、海洋上の大気的光学的特性の観測から、地球温暖化などの気候問題の解明に取り組んでいます。また、大気との融合研究として、海洋、雪氷、植生、山岳、再生可能エネルギー(太陽光発電など)、健康影響など他分野融合研究にも力を入れております。

産学連携・特許

科研費等外部資金

その他、社会貢献・受賞など

- 東京理科大学研究推進機構総合研究院大気科学研究部門客員教授
- 地球環境変動ミッション(GCOM/JAXA)SGLI利用ワーキンググループ委員会委員
- 放送大学非常勤講師
- 富山県環境審議会大気騒音振動専門部会専門員
- 富山市民大学非常勤講師

研究の概要図

